

橿原市立八木中学校

当日の日程

受付	公開授業	研究討議
13:10~	13:40~14:30	14:45~15:55

本校の特色

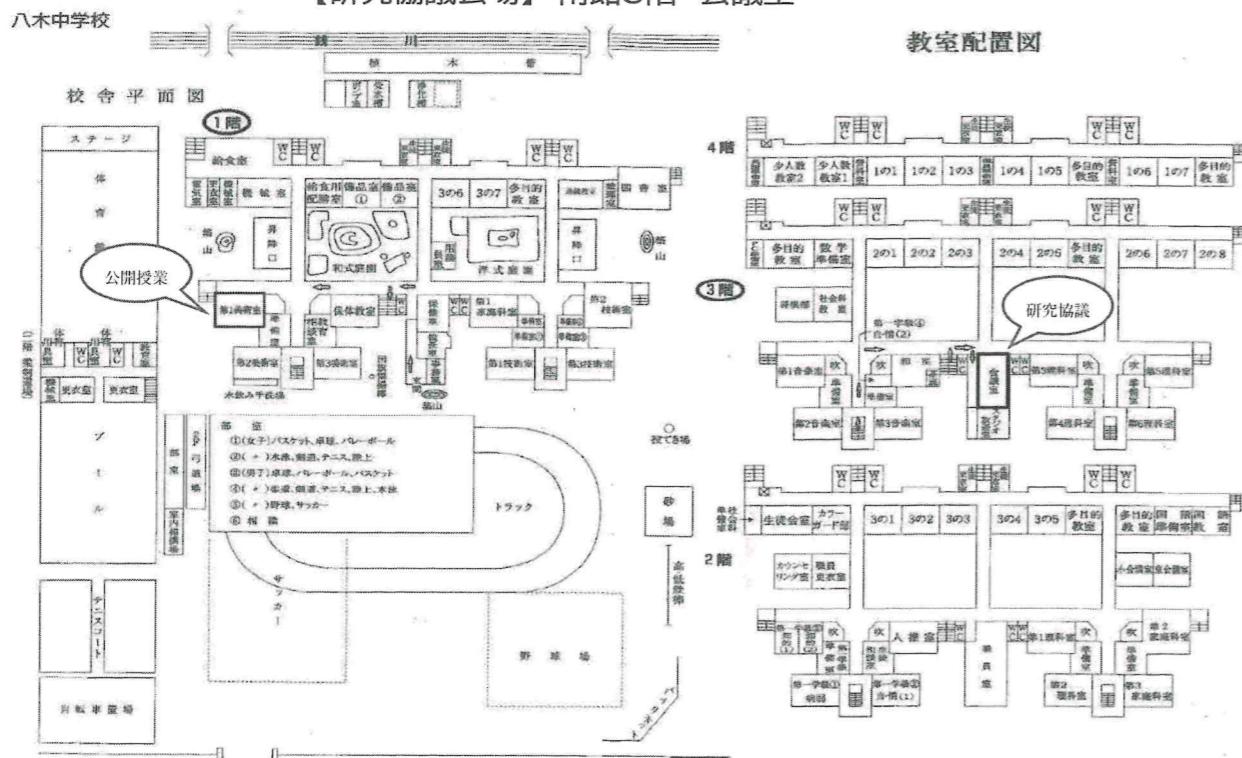
本校は、昭和22年創立で間もなく80周年を迎えます。橿原市の中心部に位置し、5つの小学校区を含む生徒数786名の大規模校です。大和三山の1つである耳成山に臨み、校区には世界遺産として登録推薦が決定した藤原京が含まれています。また、敷地は米川と銭川という2つの川に挟まれ、その川沿いでは桜をはじめとする四季折々の花が咲き誇ります。学校の北側には奈良盆地の大動脈である中和幹線が走り、最寄り駅の近鉄大和八木駅は京都や名古屋、大阪へも便利な駅です。このように橿原市の交通の要所にありながら、田畑と住宅に囲まれる自然豊かな田園地帯に位置します。



会場案内図

【公開授業会場】南館1階 第1美術室

【研究協議会場】南館3階 会議室



公開授業 つくる・使う・材料を味わう工芸

中

古都に輝く私達の鏡

2年生 橿原市立八木中学校 稲満 直

1. はじめに

生徒にアンケートをとると、自分たちが暮らす奈良県に対して、「地味」「田舎」「古臭い」といった印象をもつ一方で、「平和的」「歴史がある」「観光客が多い」といった意見も聞かれる。そこで、このような意見を生かし、郷土愛を育みたいと考えた。

奈良の魅力を深く考察し、表現することで、生徒の郷土愛を育む上で重要であると考えた。

2025年5月に実施した校外学習で奈良の魅力をアピールすることを目的としたフィールドワークを行った。本題材では、持ち帰った映像資料等を活用し、七宝焼の制作につなげる。自らデザインした七宝焼の鏡を使う楽しみを実感させることで、愛着が湧き長く大切に使う心情を培う。

七宝焼は正倉院にも納められており、第76回正倉院展では「黄金瑠璃細背十二稜鏡」がメインの一つとして公開された。さらに、同市にある明日香村の牽牛子塚古墳からは日本最古の七宝焼とされる「七宝亀甲型金具」が出土している。これらの点からも、七宝焼を通して学びを深める意義は大きい。

そこで、七宝焼の表現や鑑賞を通して、奈良の魅力(仏像や古くからの歴史遺産など)をより深く考えさせたい。

2. 題材の概要

未来・夢・願いをテーマに鏡のオリジナルデザインを考える。七宝焼の特性を理解し、工夫しながら活動を進める。①制作した作品や途中経過を元に表現方法を工夫する。また、②ICT機器を使用して鑑賞用プレゼンテーション資料を作成し、造形的な視点や作者の心情、表現の意図などから相互鑑賞を行う。

3. 活動の概要(全10時間)

第1次 ※総合的な学習の時間も活用
奈良の魅力を味わい活動意欲を高める

5月校外学習で奈良公園にてフィールドワークを実施し、6月~7月班活動による奈良のアピール資料を制作する。

第2次(2時間)

七宝焼制作の見通しを立て、表現したい思いやイメージをもつ

課題作品(七宝焼)、目標・めあて及び文様・奈良絵について学び、表現したい思いやイメージをもち、テーマを決める。

第3次(4時間)

七宝焼の制作をする

焼成後のイメージをもちやすいように、グループで個々の制作の前に小さな銅板で試し焼きをする。一人一人のテーマに基づき色や形の並び方を工夫しデザインを考える。銅板に下引き、かき割りの手順でデザインを描き、12色の釉薬で着色をする。焼成後、裏面に鏡を接着する。

第4次(2時間)

七宝焼の活動をまとめる

相互鑑賞で工夫した点や造形的なよさや美しさを伝えるためにプレゼン資料にまとめる。

第5次(2時間)

造形的な視点や作者の心情、表現の意図などを味わいながら相互鑑賞を行う【本時(1/2時間)】

鑑賞の視点を確認し、ICT機器を用いながら、七宝焼制作のプレゼン動画を発表、グループ鑑賞と個人鑑賞をし、発表を通して全体共有を行い、まとめをする。友人の作品の造形的なよさや美しさに気づき自分の見方や考え方を深める。

